

## 令和7年度 山梨県介護支援専門員協会事業計画

世界の社会情勢が目まぐるしく変化している中、日本はいわゆる 2025 年を迎えた。少子高齢化の進行、介護人材の不足、そして介護支援専門員の不足も現実味を帯びてきている。山梨県介護支援専門員協会は、時代を見据えた取り組みを強化していく。

私たち介護支援専門員の専門性とは何か、私たちの存在意義、職能団体の存在意義とは何か。一人ひとりが考え、行動していく力をつけ、介護支援専門員であることに誇りを持ち、熱意をもって職務が担えるように取り組んでいく。

### ○介護支援専門員の未来創発

1. 介護支援専門員同士の対話や交流機会の新設
2. 介護支援専門員の職業継続及び復職の支援
3. 先を見据えた情報発信力の強化
4. 山梨県介護支援専門員協会の組織力の強化

### ○介護支援専門員の人材の育成

1. 法定外研修の強化・体系化（時代に合った、先取りした研修等）
2. 地域支部連携研究大会の開催
3. 法定研修受託・実施、実務研修受講試験受託・実施と各評価

### ○山梨県介護支援専門員協会事業の可視化

1. 事業の発信力の強化（HP の見直し、発信方法の見直し等）
2. 山梨県介護支援専門員の実施課題の理解と提言
3. 業務負担の軽減（ICT を活用した DX 等）
4. 災害に対する取り組みの強化

### ○常設事業

1. 支部活動の支援
2. 各部会委員会の支援

### ○令和7年度 特定事業

1. 多団体との共同企画（リハ・4 団体、医師会、県、障がいの団体等）
2. 日本介護支援専門員協会、他の支部との連携